

2008.3.19

2007 年度後期 学科教育改善委員会(FD 研修会)議事録 [学部授業科目の部]

1. 開催日時: 平成 20 年 3 月 19 日(金)10:00-12:15, 13:15-15:40
2. 開催場所: S2 棟 3 F 都市システム会議室
3. 出席者: 安原一哉, 福沢公夫, 横山功一, 小柳武和, 沼尾達弥, 呉智深, 井上涼介, 金利昭, 山田稔, 小峯秀雄, 横木裕宗, 寺内美紀子, 原田隆郎, 桑原祐史, 信岡尚道, 村上哲(以上, 常勤教員), 田名部菊次郎, 伊佐治進, 金澤浩明, 木村亨(以上, 技術職員), 石川比奈子(学科事務職員)

司会: 小柳, 小峯 記録: 山田

学科長挨拶

- ・ 授業を充実させるために、今回も新鮮な気持ちで研修会に取り組んでほしい
- ・ いただいた意見を次の授業に反映させより良い授業につなげてほしい

全体の進め方について

(小峯)

- ・ 議事次第確認
- ・ 時間が限られているので、1 科目 5 分で、ケアしたこと改善したことにポイントを絞って説明してほしい

(小柳)

- ・ 授業点検ファイルの提出状況確認
- ・ ワーキングが未確認のところは作成して提出する

(山田)

- ・ 点検評価委員会から TA の課題についても議論してほしい

主題別セミナー A(福澤)

- ・ 理解を深めるため、負担感の低減を図った / 書籍で調べることを推奨した
- ・ 中間の評価は良かった・発表時間が明確でないという指摘があった
- ・ ディスカッションに学生が意見を出すよう仕向けることが課題

<全体へのコメント>

- ・ 自己点検票 C-Q6 は FD 研修会の今後のあり方を決める上で参考にするのでなにか考えてほしい

主題別セミナー B(安原)

- ・ 中間評価で、レポート課題で時間がほしいという希望があったので以後はやめに出題するようにした / 最終報告を 1 コマで予定したが時間が足らなかった

- ・ 書籍の貸与、書籍で調べること、図書館利用を推奨した
- ・ 図書館ガイダンスが有益だった

主題別セミナー C(呉)

- ・ 中間アンケートの評価はとくに問題が無い
- ・ 学生の自由な発想をひきだすように工夫したい
- ・ 期末アンケートの結果が出ていることの連絡がなかった

主題別セミナー E(小峯)

- ・ 少人数授業のため、遅刻の多い学生のケアもできた / レポートが不十分になりがちな学生について、個別に提出を指導した
- ・ 中間発表の意義やプレゼンのねらいなどの周知に努力した / 中間アンケートの評価が高かった
- ・ 図書館ガイダンスがあったことが有益だった / 新聞を活用した学生がいた
- ・ 最終報告会に水戸に居合わせた研究室学生が立ち会って意見交換ができ、よかった

<議論>

- ・ 教養の授業アンケートの項目が変更されたが授業改善に有効に機能しているか？ また学生はうまく答えられているか
- ・ 学生の関心を高めるための工夫の点検には使えそうだが、理解を向上させるための工夫につかえる情報は少ない
- ・ 学生のレベルに応じた難易度であるかという質問は、教養では有用と思う
- ・ 教員からの質問項目に対する意見も Web でフィードバックできる / 教員から学生へのフィードバックができるとよい

社会現象と微分方程式 II(呉)

- ・ 授業開始時の、前期科目の理解度で、学生間のばらつきが大きい、具体的には、1 関数の置換積分などを使える人が数人しかいない
- ・ 予習、復習をやってくれないのが課題で、レポートをやらせるようにした / 毎回レポートを提出させ、かつ 85 点以上になるまで直して提出させている / 他の学生とレポートを写しあっていることが問題
- ・ 中間アンケートは余裕が無くてできなかった レポートに感想を書かせると良い

<議論>

- ・ 前期の補習授業コースの学生とそうでない学生の比較は具体的にはわからない、自主的に意欲的な学生がおり補習を受けた学生だと思う
- ・ 後期で課題があるのであれば、前期の I を実施している教員グループにフィードバックすべきである、具体的な学生の名前、状況を伝えれば、前期で改善してもらえるはず (共通講座 岡先生?)
- ・ 新入生の数学のレベルはさらに下がることが予想されるので対応が必要

線形代数 II(仁平) FD 担当村上

- ・ 授業担当からまだ入手できていない

図学(寺内)

- ・ 演習と講義を交互にすることで理解が深まるようにしている / 学生の理解の程度を見ながら、やや進度を遅らせた / 時間外に希望者に補習を行った / わからないことを個別に相談に来るように指示している
- ・ 演習が難しく、うつくしく製図することに学生の力をいれてもらうよう、工夫している / 課題レベル・教科書に変更を考えている

測量学(桑原)

- ・ 演習課題を毎回出し、解説するようにしたが、十分な時間はとりにくいので、Web を使って提供したい
- ・ 配布資料が大量になるので、製本したい
- ・ 定期試験は、資格試験をベースに改良して、演習でも触れさせた上で出題している

都市・地域計画(小柳 金)

- ・ 今年度からの担当であり、板書、聞きやすさ、資料の見易さ、試験を資格試験に近づけるように工夫した / 配布資料で、都市計画図などカラー印刷での配布が好評だった
- ・ 土木技術者試験の問題をいれたが、理解度は低かった / そのためすべての目標を達成しなかった学生がいた
- ・ 全体評価は 2.0 でよいが理解度が 3.2 と低く問題 / 予習復習時間が 20 分未満と問題 / レポート課題を出すことを検討、学生からの要望もある

材料力学(村上)

- ・ 前年度はその前より出題傾向がかわったため成績が下がったので、前年度の試験問題を周知し、試験勉強をしやすいようにした / 前年度より成績が上がった
- ・ 理解度を上げるために、問題を解く機会を増やしたい / 自主的に問題を探してきて解いて提出することを成績に入れている例もあり参考にしたい

<議論>

- ・ 基礎的な科目で評価を厳しくすることで、次の科目へよい効果が出るように期待したい
- ・ 基礎的な科目では、基礎部分を充実させて、達成レベルがそろうようになると次の科目がやりやすい
- ・ 後ろの授業でも復習をやって、繰り返し取り組ませることも効果があると考えられる
- ・ 関連科目教員ネットワークでさらに議論する

数学解析 I(中本)FD 担当信岡

- ・ 中間アンケートはやっていない / 個別のコミュニケーションで改善に取り組んでいる
- ・ 成績評価に入れているレポートが毎年同じ問題・努力点の性格

- ・ 達成水準は、学科のほうから専門との関係を例示し、それを満たすような授業をやってもらっている

コンクリート構造学(沼尾)

- ・ A+に相当する良い学生が今年はいなかった
- ・ 授業の最後の 5 分くらいで演習をやらせて提出、翌週に返却している / 次の授業の最初にやるよりもよいか

都市設備及び住居環境(沼尾)

- ・ A+に相当する良い学生が今年はいなかった

<議論>

- ・ 2 年生からアンケート裏面の意見が極端に少なくなっている / 授業に臨むレベルそのものが下がっているのでは
- ・ 1 年生は自由記述が少なくは無い、いまの 2 年生も昨年は少なくなかった
- ・ 書いてもらったことに対する教員のフィードバックが肝要

上下水道工学(片山)FD 担当沼尾

- ・ 点検改善票、データが未入手のため、もらってから検討する
- ・ D と E しかないなので、問題がありそう / 2 年生のレベルが下がっているという意見もある

構造力学 II(横山)

- ・ 測量実習のあいた時間で希望者に補習を行った
- ・ 去年と同じことをやったが、成績も授業アンケートも悪くなった
- ・ 中間試験を成績評価に加えるようにしたが、よい効果がなかったので来年は元に戻す
- ・ 構造力学 I を落とした学生(6 割いた)に対し、理解していないといけない部分を最初の 2 ~ 3 回でフォローした / レポートで確認しているが、足らなかったかもしれない

<議論>

- ・ 構造力学 I を落とした学生は、2 ~ 3 回でフォローできるレベルにはない(構造力学 I 担当)
- ・ 2 年生は、授業中に反応がよくても成績のよくない学生が目立つ / 取りやめ、欠試も目立つ (構造、水理、計画で同様の傾向)

専門英語(ツール) FD 担当横山

- ・ データが不完全であり、入手後さらに検討
- ・ 楽しく授業を心がけており、学生の評判はよい / 理解度を確認したい
- ・ プレゼンテーションも授業範囲で依頼したが、学生のレベルから今年は難しかった

<昼休み休憩>

力学Ⅱ(中川) FD 担当原田

- ・ 合否に相当する学生の達成水準の考え方が必ずしもクリアではないが、D 答案・評価方法は記録に残してある / 授業アンケートに対するコメントはこれからもらう
- ・ 学科の目標に沿った授業を考えることは容易でないとのこと / 次年度から出席を取るよう依頼した

物理学実験 FD 担当原田

- ・ 都市からは受講生はいなかったが、シラバス関係のデータは保存してある

測量学実習(桑原)

- ・ 時間割上、後のコマに授業が入らなくなったので、学生が使える時間が増えた / 内業の作業資料を独自に作成した
- ・ 成績は昨年より悪い、外業、実技試験での成績が昨年より悪くなったのが原因
- ・ TA は細かな対応ができ、有効だった

土の力学Ⅱ(安原)

- ・ 試験を受けなかった学生が 12 名と今年は多かったが、受けた学生で不合格になったものは少なくなった / Web で補足の資料を提供した 成績があがったことの原因の可能性もある
- ・ 授業アンケートの授業方法の評価は例年からあまり改善できなかった(板書(字、配置)、声) / 次年度から、毎回コメントを受けよう工夫をしたい
- ・ 月曜日の授業のためにモチベーションが下がることも考えられるので、次の機会に時間割を移動して試みてみたい

建設工学演習Ⅱ(横木, 原田, 村上: 村上)

- ・ 今年度から、2 コマ連続の隔週になり、学生の負担が偏ることが課題だったが、来年度は、毎週開講にもどす
- ・ A+ が昨年より減った

<議論>

- ・ 授業中に他の授業の演習をやっている学生がおり、全体としての学生の負担を考える必要がある / 建設工学演習Ⅱでは「30分で解ける課題」という設定にしてあるが、講義の復習に必要な時間は別
- ・ 簡単なレポートでも内職、設計演習ような大きな課題でも締切日に欠席というように、普段の予習復習や計画性をもって課題に取り組むことに問題がある
- ・ 宿題にせずに、授業時間中に5分程度でできる演習をさせる方法もある

地下構造学(小峯)

- ・ 昨年よりも、成績、授業アンケートとも良くなった / 資料についての不満は今年は無かった / スクリーンが小さく学生から指摘があった / 5分ほど、前回の復習を指名して答えさせ、キーワードを思い出させているのが評判が良かった
- ・ 次の授業の準備で途中退出する学生がおり、直接指導するようにした

<議論>

- ・ 1/3 は休んでよいという意識をさせない工夫が必要 / 地下構造学では休むとそのコマに関して試験で点数がとれないので結果的に評価には反映される

輸送施設工学(西島、橋本、山本) FD 担当山田

- ・ 今年から道路の部分で試験を行った / それに影響して成績分布が広がった / アンケートでそれに対する不満の声はなかった
- ・ パワーポイントのコピーを白黒で判別できるように依頼し、A4に2枚のサイズにしてから学生の評判は悪くない

建設施工(福澤)

- ・ 欠試 28名のうち、かなりの授業を聞いていた人が少なくなき残念
- ・ 非常勤講師の作成する授業資料の評判がよい
- ・ 予習復習のために宿題を出すようにした

建設意匠(寺内)

- ・ 講義だが、実習に近い内容 / 課題のガイダンスでやめた学生も少なくなく、さらに 13名受講のうち 8名が途中でやめており、履修者が少ないのが課題
- ・ プレゼン能力(図面)の習得を狙いにしており、それ以外の作業量が多いという評価があったため、工夫した
- ・ 途中でやめた学生は、作業量が多く、他の科目に手がまわらなくなったのかもしれない
- ・ 現在の隔週開講に対して、毎週開講を望む意見もあったので検討する

<議論>

- ・ この科目で最後まで続いた学生は他の授業でもよい成績を納めているので、作業量だけの問題ではなさそう / 仮配属でみていて時間的な余裕がありそうな学生でもこの科目を取っていない
- ・ 演習でなく教科書を使い作業量を減らし多くの学生が履修できるようにならないか / 他大学の土木系学科でも演習や見学を中心にするのが一般的である
- ・ 3年後期で学生が満足できる履修ができていないかをチェックする必要がある

数理統計Ⅱ(横木)

- ・ 補講 2回のなかで、授業アンケートのタイミングがうまくいかなかった
- ・ 去年よりやや成績が悪くなった / 演習の解説を期待しているが、講義のなかでは難しい

都市システム情報処理(横木)

- ・ 実際にプログラムを作らせているが、課題を出すと、履修生が減った
- ・ TA のサポートが役に立っている

水理学 II(横木)

- ・ 成績の良い学生が前年よりも減った
- ・ 受験者が減っている

河川・水循環工学(白川) FD 担当横木

- ・ 35 名履修登録のうち、単位をとったのは約半分
- ・ 数値を使った演習を来年は充実させたい
- ・ 隔週開講に問題がないか白川先生に問い合わせる / 開講週は裏の建設意匠とも協議して決める

景観工学(小柳)

- ・ 昨年度より成績が悪くなった / 記述問題をやめ、法制度の理解など土木技術者試験水準の問題にしたので点数がとりにくくなったため / 達成できなかった目標がある
- ・ 説明のポイントが明確になるよう工夫したが、中間アンケートでさらなる改善を求める意見があった / 今後とも工夫していきたい
- ・ キャンパス内での実体験をさせることの評判がよい

社会システム分析(金)

- ・ レポートで成績評価しているが、「技術者としての基礎力」の狙いが達成されていない学生がいた
- ・ 抽象的という指摘が多かったので、具体事例をいれたことで評価は改善された / しかし具体的に数値を扱う(ゲーム理論で実例による説明)のは逆に苦手傾向

交通システム(金・山田)

- ・ もっと多くの学生の履修が望まれる / 昨年より成績はやや良くなった / 土木技術者試験を何とか解けるレベルにはなっているが容易ではない
- ・ 資料やパワーポイントなどはうまく行っている / 小テストへのコメントが少なくなった

数値計算法(小澤) FD 担当井上

- ・ 履修者が少ない / 学科の内容にあわせてテーマをつくってもらっているので、学科がもっと履修者を増やす努力をすべきだった
- ・ 次年度からは学科教員の担当に変わる

都市システム工学特別講義(井上)

- ・ 前年度、特に課題がなかったので踏襲している

- ・ 特定の学生で意欲の低いものがいた / 見学は、見学先の熱意が低く、効果が低かったのではないかと懸念する / 外部講師の時間で、時間によって出席率の低い時間があったが、失礼にもあたる
- ・ 結果的に、成績、アンケートの理解度ともに悪くなった

<議論>

- ・ 担任が就職指導との関連で担当するのが効果的ではないか / 学年・学期についてもさらに議論が必要だろう

都市システム設計演習Ⅱ(各教員) FD 担当井上

- ・ 授業アンケートでは、各チームとも工夫した成果が出ており、評価できる

都市システム工学実験Ⅱ(各教員) FD 担当村上

- ・ 各担当からのデータのとりまとめはまだ不完全 / 成績分布は前年と同様
- ・ TA は学生の相談相手として有益である
- ・ とりやめ 1 人、レポート未提出 2 名について、進級ができないので担任がフォローする

都市システム工学学外実習(安原)

- ・ 49 名が参加した / 希望者は全員参加できたが、公務員希望で民間に行った学生が少しいる / 人気企業などでかなわない希望もある
- ・ 発表会で成績評価した
- ・ 学生の評判はよく、発表会でも効果が確認できたが、進路指導への効果は確認できていない

<議論>

- ・ 評価基準が細部でクリアでない部分があるので改善が望まれる

構造工学(呉)

- ・ 時間に余裕を持った内容で、各週でほぼできるまでレポートを作らせている / そのため授業アンケートの評価は悪くない / 途中でやめた学生はあまりいない
- ・ 予習復習をあまりやってくれない

卒業研究(各教員)

- ・ 卒業時の最終のアンケートを、昨年と同様に実施する (人材広報 WG 担当)
- ・

以上